

『メタモリフォシス』

～オタマジャクシの物語～



- ミン： これは馬鹿げている。
- ティン： それでいいのよ。この世界にはもっとそういうものが必要。
私たちは軽やかに生き、自分を真剣に捉えすぎないほうがいいわ。
- アンドレイ： 実際に、この詩を読むと鳴きたくなるね。
- ミン： どうして？
- アンドレイ：すでに多くの人がカエルのように生きていないか？